



皇朝書林
翠屏集



東洋書局
本

貞正五年三月下旬のひかりに氏利義尚の
近來達者の悉くハ瀟々糸の溜々澤々後又帝
漢切講釋

坂中書林
皇朝書林
翠屏集

金部十一冊

形て其年も書味色ハ正月二日の早朝より管領神家の
下知りて徳く情の獲人君か表と何あの子鏡と信ゆか
程下の平す早達さるる病の妙業た結わりの歌対の
ワキニんめ大あの死見幕

道行おのまら